

大学院学生各位

To All Graduate Students

2019年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2019
特徴あるプログラム オミクス解析学プログラム
Omics Analysis Program

題目：新規ミエロイド系サブセットが扇動する腫瘍血管のダイナミズム

Title : Identification of novel myeloid population that incite tumor vascular dynamics

講師：木戸屋 浩康 先生

(大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 助教)

Teaching Staff : Dr. Hiroyasu KIDOYA

(Assistant Professor,
Department of Signal Transduction,
Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University)



日時：2019年10月31日(木) 17:00~18:30

Time and Date : 31th Oct, 2019 17:00-18:30

場所：基礎研究棟 第2講義室

Room : Basic Medical Research Building Lecture room No.2

概説：

組織の隅々にまで張り巡らされた血管ネットワークは、酸素や栄養分を供給することで生体の成長と恒常性の維持に働いている。血管は血管新生と脈管形成の二つの機構によって形成されるが、その後に血管リモデリングと呼ばれるダイナミックな構造変化を経ることで、器官に応じた血管ネットワークは完成する。我々は、既定の概念には当てはまらない新規の血管リモデリング機構である「血管束移動」を発見した (Kidoya H, et al. Dev Cell. 2015)。血管束移動とは、血管が管腔構造を保ったまま組織内を移動する現象であり、組織内に浸潤してきたミエロイド系細胞群によって制御される。シングルセル遺伝子発現解析および生体イメージング解析から、このミエロイド系細胞群が規定の分類に当てはまらない新規のサブセットであり、腫瘍組織の血管形成にも関与していることが示された。さらに、癌に対する血管新生阻害療法への治療抵抗性が血管束移動によって誘導されることが明らかになりつつある。本講義では、生体内で進行する血管ネットワーク形成のダイナミズムを解説する。

使用言語：日本語

Language : Japanese

関係講座・部門等の連絡担当者: 神経遺伝情報学・大野欽司、システム生物学・島村 徹平 (内線 1980)

Contact : Division of Neurogenetics・Kinji Ohno, Division of Systems Biology・Teppei Shimamura (ext. 1980)

事前連絡は不要です。

No registration required.